

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年1月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【H4タンクエリアにおける顔面汚染について】 H4タンクエリアにおいて、雨水タンクカバー修理作業の協力企業作業員が、作業後の企業棟A棟ゲートモニタによる汚染検査の際、鼻付近に放射性物質の付着を確認。 その後、除染により、放射性物質の付着が確認されていた部位全てにおいて、退出基準を下回ったことを確認し、入退域管理棟より退域。 ホールボディカウンタ(WBC)測定の結果、検出限界値未満を確認し、入退域管理棟救急医療室での医師による問診の結果、身体状態に異常なしと診断を受け退域。 なお、入退域管理棟において鼻の中の汚染検査(鼻腔スミア)を実施し、内部被ばく線量を評価した結果、記録レベル未満であることを確認。 今後、引き続き原因調査を行い、対策を検討予定。</p>	G II	1月6日
2	<p>【5号機 非常用ディーゼル発電機(5B)の燃料移送ポンプ出口弁の閉操作不能について】 当直員が、5号機 非常用ディーゼル発電機(5B)の燃料移送ポンプ出口弁を閉操作したところ、弁が動かないことを確認。 原因は、弁の固着と推定。 なお、当該弁は通常は開の弁であるため、運転時には影響なし。 今後、当該設備の計画点検時に弁の点検を実施予定。</p>	G III	1月5日
3	<p>【5号機 タービン補機冷却系熱交換器(A)海水側入口管の排水が出来ないことについて】 当直員が、5号機 タービン補機冷却系熱交換器(A)の海水側の排水の際、当該海水側入口管のドレン弁を開操作するも、排水が出来ないことを確認。 原因は、当該ドレン弁配管の詰まり、またはドレン弁の不具合と推定。 なお、当該ドレン弁による排水は出来ないが、他のドレン弁の使用により排水が可能であることから、熱交換器点検自体には影響なし。 今後、当該ドレン弁配管および弁の点検を実施予定。</p>	G III	1月6日